

シラバスの見方

授業科目名	科目名を記載しています。		履修形態	卒業や免許・資格を取得するために、必修または選択の区別を記載しています。					
授業科目英名	英文科目名を記載しています。								
担当教員	①	担当する教員名を記載しています。							
履修年次	②	開講期	③	授業形態	④	単位数	⑤	授業時間数(回数)	⑥
学習成果	獲得できる学習成果の項目を記載しています。			-			-		
実務経験	有	担当教員が授業科目の教育内容と関連する実務経験を有している場合は、「有」と記載し、その当該授業との関連を記載しています。							
履修方法	科目CD								
受講要件									

- ①担当形態
【単独】1名の教員が全回担当
【複数】1回の授業を2名以上の教員が一緒に担当
【オムニバス】各回の担当教員が異なる場合
- ②履修年次
当該科目が開講される学年
(当該科目を履修登録できる学年)を記載しています。
- ③開講期
開講される時期を記載しています。
「前期」「後期」「前・後」「通年」の区分があります。
- ④授業形態
「講義」「演習」「実験」「実習(学外含む)」「実技」の区分があります。
- ⑤単位数
当該科目を修得することにより取得できる単位数を表しています。
- ⑥授業時間数(回数)
授業時間数(回数)を記載しています。

授業の概要	授業の概要を記載しています。	
授業の目的	学習する目的・意義を記載しています。	
授業の到達目標1	授業の概要と目的と関連して、授業を受け終えた時点で、どのような知識・技能・態度を身につけることができるかを記載しています。	
授業の到達目標2		
授業の到達目標3		
授業の到達目標4		
成績評価方法及び基準 筆記試験	55%	成績評価の方法、評価の割合と基準を具体的に記載しています。
成績評価方法及び基準 レポート		
成績評価方法及び基準 小テスト		
成績評価方法及び基準 授業態度(実習態度意欲)	15%	
成績評価方法及び基準 その他1(課題)	30%	
成績評価方法及び基準 その他2()		
成績評価方法及び基準 備考		

成績評価の基準を記載しています。
100～90点:S評価、89～80点:A評価、79～70点:B評価、69～60点:C評価、59点以下:不可
*原則として実施授業回数の3分の1を超えて欠席している者は、試験は受けられない(無資格)

授業計画	NO	担当教員	題目	内容
	1			
	2			
	3			
	4			【担当教員】 当該授業を担当する全ての教員名を記載しています。
	5			
	6			【題目・内容】 各回の「テーマ」「内容」を記載しています。
	7			授業を受ける前に確認し、各回の授業内容の流れを頭に入れるよう心がけ、
	8			授業に臨んでください。
	9			なお、授業の進行具合により適宜変更する場合があります。
	10			
	11			
	12			
	13			
	14			
15				
教科書	授業内で実際に使用する教科書を記載しています。授業開始前までに必ず準備してから授業に臨んでください。			
参考書	当該授業を学習する上で参考となる文献を記載しています。			
学習上のアドバイス	学習するにあたり、担当教員からのアドバイスを記載しています。 目を通してから学習しましょう。			
準備学習(予習)	授業時間外での、準備学習(予習・復習)の具体的な内容や学習方法を記載しています。			
準備学習(復習)				

授業時間数(準備学習)	15時間(45分×15回) 準備学習時間数:準備・事後学習を行うために必要な時間数を記載しています。		
課題フィードバック	有	課題(小テストやレポート等)に対する、教員からのフィードバック方法を記載しています。	